



にかほ

# 市議会だより

11.1 2010  
vol.22



鳥海山伝承芸能祭（9月11日）

## 9月定例会

一般質問一覧	2
一般質問	2
平成21年度各会計決算・平成22年度各会計補正予算	8
陳情・議会活動	9
質疑、討論	10
議員研修報告、議会基本条例について	12
委員会報告	13

一般質問は、9月6日・7日・8日に行われ、11名の議員が市政全般にわたり、当局の所信や見解をただしました

- 池田好隆 議員
  - ◇市街地再生と出前商店街について
  - ◇集落の元気度アップについて
  - ◇高齢者の見守り支援について
- 竹内 賢 議員
  - ◇コミュニティバスを育てる地域社会について
- 佐々木正明 議員
  - ◇にかほ市第2次行財政改革大綱について
  - ◇イベント等の在り方について
  - ◇定住化の促進について
- 奥山収三 議員
  - ◇中島台遊歩道整備について
  - ◇臨時雇用の契約における作業内容及びその範囲
- 池田甚一 議員
  - ◇中学校新校舎の評価について
  - ◇にかほ市の小、中学校の印象について
  - ◇中学生の進路指導の現状について
  - ◇理科教育の振興について
  - ◇学校評価委員の活動状況について
- 市川雄次 議員
  - ◇市町村負担金について
- 宮崎信一 議員
  - ◇文化会館建設について
  - ◇金浦地域に市有地を
  - ◇観音瀧のアオコ対策について
  - ◇共同受注事業について
- 伊東温子 議員
  - ◇子宮頸がん予防について
  - ◇上浜小学校区の学童保育について
  - ◇国際交流について
- 鈴木敏男 議員
  - ◇市政に対する運営とその姿勢について
  - ◇円高等による当市の影響とその対策について
  - ◇学校の統廃合について
  - ◇潤いのあるまちづくりについて
  - ◇H22第4回市議会6月定例会以降の下記事項について
- 村上次郎 議員
  - ◇介護保険の末期がんへの適用周知を
  - ◇介護度による障害者認定、税の軽減の広がりについて
  - ◇ごみ焼却炉建設基金を設けたらどうか
  - ◇マレットゴルフの普及を
- 小川正文 議員
  - ◇地域医療について
  - ◇産学官連携について

## 9月定例会一般質問

### 市街地再生と出前商店街について



池田 好隆 議員

質問 賑わいを見せていた従来の中心商店街は、衰退傾向というよりは瓦解の状態にあるように思われます。本県の他の都市では、近年中心地区（俗にいう「まちなか」）再生の声が高まっています。本市の実態、又象潟駅舎改築やJR東西連絡網整備にどう取組みますか。更に、買物弱者対策として商工会で取組んでいる「ふれあいべんり市」についてどう把握していますか。

市長 賑わいを見せていた従来の中心商店街は、衰退傾向というよりは瓦解の状態にあるように思われます。本県の他の都市では、近年中心地区（俗にいう「まちなか」）再生の声が高まっています。本市の実態、又象潟駅舎改築やJR東西連絡網整備にどう取組みますか。更に、買物弱者対策として商工会で取組んでいる「ふれあいべんり市」についてどう把握していますか。

市長 出前商店街の低迷は全国的な傾向であり、本市も例外ではありません。市では共通商品券事業等を支援してきましたが、今後もアイデアには支援したいと考えています。象潟駅舎や東西連絡路については都市計画マスタープランに計画されています。再生計画は検討を早めたいと思います。

質問 合併により中心部が栄え、集落に元気がない状況は本市も例外ではないと思います。本市でも「夢いきいきマイタウン事業」という協働のまちづくりを進めています。環境整備が多いようですが、内容は一歩進めて、住民自らが地域活性化を提案し推進できるような「集落元気度アップ作戦」というような仕組み作りはできないでしょうか。

市長 集落の衰退は少子・高齢化や農業の弱体化に原因があると思います。活性化についてはなかなか難しいが、できることから取組むことが大切と考えています。仕組みづくりについては、ソフトの取組みが多いのでハードも提案してほしいと考えています。農業問題は難しい状況で、リーダーが大事であり、集落営農から法人化した「ほつと奈曾」（小滝）に期待しています。今より自由度の高い交付金制度を検討しています。



賢議員 竹内

## コミュニティバスを 育てる地域社会に

**質問** にかほ市は地域生活の足を守るため上郷線・釜ヶ台線・大竹線・院内線の4路線にコミュニティバスを走らせました。現段階での運賃収入と乗車人数が、当初計画と比較してどうか伺います。また、コミュニティバスについては、その地域だけでなく、行政や他の地域に住む市民も一体となってその地域を支えていくという意思と行動を示していくことが大切だと考えます。そこで小さな提案も含めて質問します。

民の生活を守る上でも大切なことであると考えています。利用者の利便性を考慮し、利用していない方々にも関心を持っていただくよう努めます。

**総務部長** 運賃収入については4月から7月までの4ヶ月間の実績で198万3、436円、乗車人員は1万8、846人といずれも当初の計画を上回っております。行事開催のお知らせについては商工会や観光協会と協議してまいります。広告宣伝の募集については、収入増をめざし検討してまいります。路線・経路については検討委員会で要望を検討してまいります。回数券の12枚綴りについては、利用者にも応分の負担が必要と考えています。ステップの高さ解消の踏み台対応については徹底します。バスが市民に愛され、利用されるよう工夫と努力をしていきます。

・地域でコミュニティバスを育てる話し合いを深めること  
・行事開催のお知らせにバス利用を促す呼びかけや宣伝  
・広告宣伝を募集して、バスの車体や車内に掲示する  
・運行経路の変更  
・回数券を12枚綴りにしたり、バスのステップが高いので踏み台を置くサービス

**市長** 地域の方々ができるだけコミュニティバスを利用し、育て支え合ってゆくことは地域住

# 9月定例会一般質問

## にかほ市第二次行財政改革大綱について



佐々木正明 議員

**質問** 第2次行財政改革大綱の中の民間委託等の積極的な推進について伺います。

**市長** にかほ市が直接実施している事務事業や施設の管理のうち、民間活力を活用した方が有効なものについては、行政責任の確保や適切な監視、指導のもとに民間委託や指定管理者制度及び民間譲渡など外部委託を進めることとしております。

### 定住化の促進について

**質問** にかほ市では出生数の減少に加え、転出者数が転入者数を上回る状況が続いております。出生率の向上や定住を

目指して縁結び・めぐりあい事業として独身男女の出会いの場の創出や情報提供に積極的に取り組むと市長の市政報告にありました。現状と今後の対応についてお伺いします。

**市長** 今年度から県の交

付金を活用した、にかほ市少子化対策事業を実施しており、同事業には独身男女の出会いの場を創出する新たな取り組みも含まれております。

縁結び・めぐりあい事業に該当する事業としては、異業種交流とも言いますけれども、若者交流事業、婚活WISHトーク&コンサート、出会いのツアー委託事業、さらさらにかほめぐりあい支援事業の4つの事業があります。

若者交流事業、異業種交流については、今年度5回の開催を予定しており、既に7月2日には第一回目を開催し、男女32人が参加し、交流を深めております。

さまざまな業種の方々に集まっていただき、業種の違う方と交流、情報交換の場にしてほしいという思いから「異業種交流会」のタイトルで募集をいたしました。

参加者からのアンケートでは、「多くの方と会って話ができてよかった」、「にぎやかにゲームなどもできてよかった」など次回以降の開催を楽しみにしていると聞いております。今後も季節ごとに趣向を凝らしたイベントを開催していきたいと考えています。



三員 収議 奥山

## 中島台遊歩道

### 整備について

**質問** 未整備遊歩道の区間距離はどれくらい残っていますか。又、今後の未整備遊歩道の整備計画はどうなっていますか。

**市長** 未整備区間は約900メートルです。本年度もきめ細やかな臨時交付金の活用や鳥海国立公園を美しくする会の事業などにより、木道整備約300メートルを予定しております。

今後の整備計画については、自然環境保護のための木道整備を主体にして、もう3年ぐらいはかかるのではないかと思っておりますが、ただ、この地域は文化財保護法、自然公園法、森林法などの法的制約があることから、一度にすべてのコースが整備可能とならない場合も考えられます。整備と環境保全のバランスを考慮した上で各種関係機関との協議を重ねながら優先順位を定めて整備をしてまいりますと思っております。

### 臨時雇用者の契約における作業内容及びその範囲

**質問** 臨時雇用者の契約にお

ける作業内容とその範囲について伺います。さらに、この作業はてんぐ巣病に罹病している枝のみだったのか、または健全枝の間引きも含まれていたのですか。

**総務部長** 当該職員は象潟小学校の臨時校務員として雇用契約をしていたもので、本来の作業内容は学校用務のみです。三崎公園、栗山池公園内のサクラの木のてんぐ巣病にかかっている枝の剪定除去作業に10年くらい前からかかわってきた方で、平成21年度の作業においても旧町時代からの作業内容を十分に把握しているという理由から、教育委員会に対して職員の派遣依頼があつて作業が行われたものです。

事故当時の作業の内容につきましてましては、てんぐ巣病にかかっている枝の剪定と除去作業を行うもので、作業の中に健全枝の間引きは入っておりませんでした。

# 9月定例会一般質問

## 中学校新校舎の評価について



一員 甚 池田

**質問** 小・中学校の児童生徒が、地域社会を背負って立つ人材に成長するためにも学校教育が重要です。そこで次の5項目を質問します。①象潟、仁賀保の両中学校の新校舎が学習及び生活態度に与えた変化について。また、新校舎の長寿命化のための日常管理について。②就任から間もなく1年となる教育長の教育全般に対する感想について。③中学3年生の夢を実現するための進路指導の状況について。④理科教育振興に対する教育長の考え方について。⑤教育委員会評価が13項目に絞られた理由について。

**教育長** ①新校舎の明るく快適な学習環境は、生徒が学習機器や資料等を積極的に活用するなど学習意欲向上に大きな影響を与えています。また、新校舎での生活は、生徒の公共心や協調性等の高まり、生徒会活動の充実につながっています。校舎の日常管理については、清掃等はもちろんですが、最も大切なのは新校舎の状態を保つために、子供たちの心を育てていくことだと思います。②多少学校差はあるものの、子供たちの日々の活動を地域や家庭が強く支えており、学校に寄せた関心や期待が高いと感じます。③入学時には生徒や保護者の進路に対する意識を高めるための面談を、2年生時にはキャリア教育の充実や教育相談等を行なっています。そして、最も重要なのは、将来の夢を実現するための裏付となる学力や運動能力等を伸ばし、困難を乗り越えたいと心育を育てることだと思います。④学校における教育が最も大切であり、今後は専門の先生が少ない小学校に専門の先生を派遣するなどして、理科教育の充実を図って行きたいと考えています。

**教育次長** 学校評価13項目は、総合発展計画に基づいた重点項目を達成するために多くの実施事業の中からバランスを考慮しながら抽出したものです。



市川 雄次 議員

## 市町村負担金について

**質問** 都道府県事業に対する市町村負担金について、全国市長会は全国知事会に見直しを求め

る要請をしています。これまでの負担のあり方が、明確な根拠をもって負担したものかを明らかにしなければならぬと思います。そこで、全国市長会の要請文をもとに当市の現況を質問させていただきます。①事業計画等において市の意向が反映される事前協議の具体的な内容と方法について。②実際の負担金の負担割合や区分についてどのような内容で、その根拠はどのような内容なのか。③これまでの負担金支出について、対象経費として相応しくないものを負担してきた事例の有無について。④県有物の維持管理について市が負担してきたことはなかったか。⑤これまで国直轄事業のうち県から一部を市が負担するよう求められたことはあるか。⑥一部の都道府県では市町村負担金の廃止を含めた見直しを検討している中で、秋田県は早々に現状維持を表明しています。こ

のことに對する市長の見解をお願いします。

**市長** 現在市負担のある漁港及び林道整備の県事業において、市の意向を取り入れ、効率的な整備が図られるよう協議の上計画、実施されています。②負担割合等については、毎年度県議会で議決された県内同一の負担率となっています。③負担金の対象範囲は負担率にもとづき工事費と事務費を負担しています。④通常の維持管理及び軽微な修繕については市が行ない、大規模な修繕や改修は県が行なうことで協定を結び、管理をしています。それ以外のものが市が負担して維持管理しているものはありません。⑤国直轄事業のうち、県負担金分の一部負担を県から求められたことはありません。⑥市町村負担金は各市町村が望む事業を促進するために必要な仕組みであり、特に生産基盤の整備については早期完成を図るためにも応分の負担は必要と考えています。

## 9月定例会一般質問

### 金浦地区に市有地を



宮崎 信一 議員

**質問** 企業誘致のための工業用地を取得しておくべきではないか、工業用地を市で求める考えがあるのかお伺いいたします。

**市長** 企業に合った形で工業用地を提供していくことを考えて全庁体制で工業団地適地選定庁内会議を立ち上げ各種条件を検討中です。用地の先行先取については、最適の選定結果や財政状況を斟酌しながら、また議会と十分相談をした上で用地取得に向けてまいりたいと思っております。財源については、財政調整基金を活用するか、あるいは県開発公社の制度を活用するか、検討してまいりたいと思っております。

### 共同受注について

**質問** 共同受注事業発足から約1年経過しており

ます。現在は法人化して活動もしているとのことでありますが、現在の状況と今後の見込みについてお伺いいたします。

**市長** 昨年度から引き続き4月1日付でにかほ市商工会と再度委託契約を結び、現在12名体制で、にかほ市商工会共同受注部臨時職員として共同受注システムの構築に向けた取り組みを展開しているところであります。本事業に賛同する企業27社が昨年12月16日に共同受注事業会を結成したほか、3月24日には共同受注事業会の会員企業の中から19社ほど出資いたしました、合同会社にかほシステムズとして法人を立ち上げております。現時点の体制は商工会共同受注事業部の営業結果をもとに、合同会社にかほシステムズが取り引き企業として契約し、そこで受けた仕事を27社の共同受注事業会がそれぞれ分担して仕事をしている状況です。今後の見通しですが、中小企業を取りまく厳しい状況の中で地域で結束して取り組むことが、将来的には個々の技術力の向上とあわせて参加企業の経営基盤強化につながるものだと、そのように考えております。



伊東 温子 議員

## 子宮頸がん 予防について

**質問** 子宮頸がん予防ワクチンの接種及び検診の状況をお伺いします。

**市長** 7月より開始し接種の状況は、初回で226人の接種で対象者427人に対して52.9%となっております。部活が一段落しておりますので今後接種人数も増えてくると思っております。

子宮頸がんの検診の集団検診の受診状況は平成22年度は1、853人の対象者に対して現在489人の受診で、受診率は26.4%となっております。

**質問** 子宮頸がん予防ワクチン接種の説明会と講演会が開かれましたが、その後の啓発活動についてお伺いします。

**市民福祉部長** 今後婦人団体を対象に日本赤十字秋田病院の産婦人科医師の講演会も開催する予定となっております。

**健康推進課長** 今回接種の開始が7月からで、いろいろな機会に説明会を設けさせてもらいましたが、20人から40人ぐらいの少ない参加人数でありました。

来年度につきましては4月1日から事業開始ですので、学校と連携を持ちながらもつとPRできるような計画していきたいと思えます。

**質問** 専門家によるきちんとした性教育を行なっていかなければと思いますがいかがでしょうか。

**健康推進課長** 子宮頸がんに罹患する若い女性が増えていることからこの予防接種が出てきたのですが、性教育ということが特に大切だと思います。学校保健の中でそういう事業を持つておりますので、学校教育課のほうからも力を入れていただきたいと思います。

**教育長** 性教育については学校教育のほうで行っているわけです。ただ子宮頸がんを意識した性教育というのは行っていないと思いますし、それを意識し、それを含めた性教育を進めていかなければならないのではないかと、そのようにまず思いました。

## 9月定例会一般質問

### 市政に対する運営とその姿勢について



鈴木 敏男 議員

**質問** 市政に対する運営とその姿勢について市長並びに副市長に伺います。

**市長** 再選された主な理由は市政の継続と市長選挙で掲げたマニフェストの実現に期待しているのではないかと思います。実施している事務事業についてもよく検証し、見直しを含めて次年度以降につなげていきたいと考えています。同時に6分野29項目の実現については、引き続き最大限努力を重ねてまいります。

**副市長** にかほ市の均衡ある発展と市民福祉の向上、そして雇用の場の確保に努めます。にかほ市総合発展計画の「夢あるまち」「豊かなまち」「元気なまち」の基本理念のもと、事業の円滑な推進と市長の公約を速やかに

実施していくためにも市長を補佐し、特に雇用の問題、産業の振興等について努力を重ねてまいります。

**質問** 学校の統廃合についてお伺いします。

**教育委員長** 平成23年度の早い時期に仮称院内小学校、小出小学校の統合検討委員会を立ち上げ、平成27年度をめどに新校舎建築を視野に入れ、地域住民や保護者の意見を十分に考慮し、今後の就学児童数を勘案しながら小規模小学校の適正化について進めていきたいと考えています。また、平成30年度をめどに象潟地区の象潟小学校、上浜小学校、上郷小学校の老朽化校舎の改築及び学校規模の適正化に向けて児童生徒の推移を見ながら3つの小学校の統合についても検討していきます。

**質問** 社会教育施設の工事進捗状況を伺います。

**教育長** にかほ市内の体育館3施設の耐震補強工事実施委託を行うために予算化されています。現在、国に実施設計委託業務補助金の申請中で、交付決定後に実施設計委託事務を執行予定です。



村上 次郎 議員

## 介護保険の 末期がんへの適用通知を

**質問** 末期がん等について介護保険による緩和ケア等の適用になることについて周知していますか。

**市民福祉部長** 本荘由利市町村圏組合においても制度の案内などでお知らせしています。今後広域や市のパンフレット、介護保険の窓口での申請相談、あるいは講座などで周知していきます。

## 介護度による障がい者認定、 税の軽減の広がりについて

**質問** 介護制度による障害者認定、税の軽減の広がりについてお尋ねします。

**市民福祉部長** 今年度から対象と見込まれる要介護3から5の全員に通知を行います。ただし、障がい者控除の対象となる年の介護認定は12月末に確定するため、12月末から1月中旬にかけての通知になります。

## ごみ焼却炉建設基金を 設けたらどうか

**質問** ごみ焼却炉建設基金を設

けたらどうかお伺いします。

**市長** この事業を進めるために国の循環型社会形成推進交付金を活用するつもりです。この交付金を活用し全部合併特例債を使える形で施設を完成したいと考えております。現状では基金を設けなくても十分財源の捻出は可能と考えています。

## マレットゴルフの普及を

**質問** マレットゴルフの普及についてお尋ねします。

**教育次長** 現時点で行政主導のマレットゴルフの推進は考えていません。健康づくりのスポーツとして情報発信は行っていきたくと考えています。



# 9月定例会一般質問

## 地域医療について



小川 正文 議員

**質問** 地元地域医療の中心をなす由利組合総合病院の経営状況について伺います。

**市長** 当病院については建設時の債務が残っておりますので厳しい経営状況が続いています。消化器内科の医師不足などにより外来患者が前年度より累計で2万64人、入院患者では延べ6,800人ほど減少しております。単年度収支は1億2,400万円ほどの赤字となっておりますが、大変厳しい経営状況が続いております。

**診療科目の縮小状況について**は、現在精神神経科は外来診療のみで入院はできない状況にあります。消化器についても同様です。小児科、産婦人科については今までもお診察が行われております。

**質問** 医師不足対策についての考え方、受けとめ方について伺いたいと思います。

**市長** 平成20年度末で2,180人で少しずつではありますが増加の傾向にあると伺っております。しかし人口10万人当たりでは全国平均を大きく下回り全国32位の低位置にあります。県、医療機関、そして教育機関などが一体となって総合的な医師確保対策に取り組んでいるところであります。

## 産学官連携について

**質問** 産学共同研究センターでの研究テーマについて、その取り組み方とにかほ市ではどのような企業が参画しているのかその成果について伺います。

**市長** 県立大学本荘キャンパスとの連携窓口として管内企業の各種相談のほか、測定器の利用や製品開発資金の助成等も行ってまいります。現在取り組まれている共同研究については、企業側では研究の内容はもとより市内の企業についても公表されていない現状です。

## 9月定例会

# 平成21年度各会計決算が認定されました

第6回9月定例会は、9月2日から22日まで21日間の会期で開かれ、平成21年度の各会計の決算や平成22年度一般会計補正予算をはじめ、議案25件が提出されました。

平成21年度一般会計決算及び平成22年度一般会計補正予算については、特別委員会に審査を付託し、最終日の本会議において委員長報告を行い、平成21年度各会計決算10件、平成22年度各会計補正予算8件が原案のとおり認定・可決されました。

このほか、報告2件、人権擁護委員候補者の推薦、2名に顕彰を授与すること等3件、条例の一部改正3件、市道路線の認定1件が可決されました。

平成21年度各会計の決算と平成22年度各会計の補正予算については、次の表のとおりです。

※決算の単位は「円」、補正予算の単位は「千円」ですのでご注意ください。

## 平成21年度 一般会計・特別会計決算

(単位:円)

会計別		歳入	歳出	歳入歳出差引残額
一般会計		16,761,071,910	16,379,298,701	381,773,209
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,288,239,360	2,894,937,943	393,301,417
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	90,518,722	78,612,702	11,906,020
	後期高齢者医療特別会計	225,324,492	224,761,662	562,830
	老人保健特別会計	12,384,505	15,963,247	△ 3,578,742
	簡易水道特別会計	180,632,469	178,439,895	2,192,574
	公共下水道事業特別会計	1,958,311,064	1,934,281,454	24,029,610
	農業集落排水事業特別会計	479,028,168	474,164,114	4,864,054
	計	6,234,438,780	5,801,161,017	433,277,763
合計		22,995,510,690	22,180,459,718	815,050,972

※老人保健特別会計の歳入不足額は平成22年度の歳入を繰上げて充用します。

事業別		項目	収入	支出
企業会計	ガス事業	収益的	392,265,543	591,986,638
		資本的	135,520,527	194,564,811
	水道事業	収益的	438,495,001	458,004,508
		資本的	347,479,246	535,869,663

## 平成22年度 一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計		14,421,835	751,045	15,172,880
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,088,399	66,087	3,154,486
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	74,650	△ 194	74,456
	簡易水道特別会計	275,727	840	276,567
	公共下水道事業特別会計	1,374,461	7,681	1,382,142
	農業集落排水事業特別会計	381,990	3,945	385,935
	計	5,195,227	78,359	5,273,586
合計		19,617,062	829,404	20,446,466

事業別		項目	既定予定額	今回補正予定額	合計
企業会計	ガス事業	収益的支出	560,265	△ 8,598	551,667
		資本的支出	151,400	60	151,460
	水道事業	収益的支出	457,606	△ 5,443	452,163
		資本的支出	485,424	197	485,621



# 陳 情

番号	陳 情 の 件 名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結 果
7	司法修習生の給費制の存続を求める陳情書	秋田市山王6-2-7 秋田弁護士会 代表者 狩野節子	総 務	採 択
8	米価の大暴落に歯止めをかけるための陳情	秋田市中通6-7-36 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤長右衛門	産業建設	採 択
9	免税軽油制度の継続を求める陳情	秋田市中通6-7-36 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤長右衛門	総 務	採 択
5	日本海沿岸東北自動車道象潟仁賀保道路の金浦インターチェンジ(仮称)周辺に、一般道と直結した地元農産物などの特産品等の販売施設及び情報発信施設などを併設したパーキングエリアの設置及び関連道路等の整備について(継続審査)	にかほ市金浦字十二林158-9 にかほ市商工会 会長 佐藤作内	産業建設	採 択
6	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書(継続審査)	仙台市青葉区二日町9-15 国土交通省管理職ユニオン東北支部 執行委員長 堀井 寿	総 務	不採 択

## 決議・意見書

次の件について決議し、意見書については関係機関に提出しました。

- ・事務検査に関する決議について
- ・司法修習生の給費制の存続を求める意見書
- ・米価暴落への緊急対応についての意見書
- ・免税軽油制度の継続を求める意見書



## 議 会 活 動

◇議会関係行事

年 月 日	行 事	場 所 等
H22. 8. 6	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
8. 17	議会運営委員会	〃
8. 26	議会運営委員会	〃
9. 2	第6回定例会(～22日)	〃
	全員協議会	〃
	議会運営委員会	〃
9. 6	産業振興講演会	ホテルエクセルキクスイ
9. 7	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
9. 22	議会運営委員会	〃
9. 27	産業建設常任委員会研修視察(～29日)	群馬県藤岡市、長野県伊那市
10. 3	日沿道県境区間建設促進大会	山 形 県 遊 佐 町
10. 7	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎
	議員研修会	ホテルエクセルキクスイ
10. 14	林活議員連盟役員会	象 潟 庁 舎
10. 19	議会広報編集委員会	〃
10. 20	総務常任委員会研修視察(～22日)	富山県滑川市、上市町、富山市
	教育民生常任委員会研修視察(～22日)	栃木県那須塩原市、東京都江戸川区
10. 25	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎

# 質 疑 ・ 討 論

## 〈質疑〉

報告第62号

平成21年度にかほ市一般会計  
歳入歳出決算認定について

**質問** 歳入で市民税、国保税の不納欠損額についてその理由と人数、額について伺います。

**答弁** 市民税については、第1号の財産がないときに該当するものが1人と3法人で341万5、493円であり、第2号の生活を著しく窮迫させる恐れがあるときに該当するものが11人で12万841円、第3号の所在・財産ともに不明であるときに該当するものが1人で5、000円であります。

国保税につきましては、第1号の該当者が3人で19万3、112円、第2号の該当者が14人で83万1、340円、第3号の該当者が22人で9万5、700円となっております。

固定資産税の不納欠損額についてはは倒産した3法人分であり  
ます。

**質問** 家屋全棟調査の進行状況について伺います。

**答弁** 家屋の準備調査については21年度で完成しています。

今年度は準備調査で作成した資料に基づき家屋全棟調査を実施しています。

進捗状況は約50%となっております。象潟地域が完了し、現在は仁賀保地域を調査しています。

議案第63号

平成21年度にかほ市国民健康  
保険事業特別会計事業勘定歳  
入歳出決算認定について

**質問** 財政調整基金積立金を不  
用額とした理由と財政調整基金  
の適正額について伺います。

**答弁** 不用額にした理由ですが  
財政調整基金利子を財政調整基  
金積立金として3月に補正しま  
したが、平成20年度から始まっ  
た特定検診の影響で保健事業の  
支出が大きくなっているため、  
基金利子についての補正はしま  
したが保健事業に充当すること  
にしたものです。

財政調整積立金の適正額につ  
いては、保険給付費、後期高齢  
者支援金、老人保健拠出金、介  
護納付金の3カ年の平均年額の

5%とした場合に、市では1億  
2、634万6、452円とな  
り、現在の国保財政調整基金の  
積立額は1億4、270万円だ  
すので適正な金額であると考え  
ています。

議案第72号

平成22年度にかほ市一般会計  
補正予算(第3号)について

**質問** 企画費の地上デジタル予  
算について、まだ特定の難視聴  
場所あるいは調査していないと  
ころが残っているのか伺いま  
す。

**答弁** 今回の補正予算について  
は、市内3地域の難視聴解消対  
策事業に対する補助金でありま



▲共同受信施設(上小国)



▲共同受信施設(院内)

すが、これで市内の難視聴がす  
べて解消するわけではありませ  
ん。  
水沢、院内、桂坂につきまし  
ては来年の7月24日までに間に  
合うように受信施設組合と協議  
を進めているところでありま  
す。

**質問** 地域医療再来受付システ  
ムについて、どこに設置し、ど  
のような利用形態になるのか伺



▶ 再来受診機

# 質 疑 ・ 討 論



(事務室前)



▲スマイル (保健センター)

います。  
**答弁** 現在、由利組合総合病院内にある再来受診機による受け付け機器を、市内にも設置しまして再来受け付けを行うものがあります。

設置場所につきましては、各

地域の保健センターの事務室付近に設置予定で12月の開始に向けて準備を進めています。

**質問** 今回の過誤納金還付金の原因について伺います。

**答弁** 今回の保安林への誤課税の原因については、林務、税務の担当者間において保安林指定に伴う連絡がうまく行われなかったことによるものであります。

今後は農林水産課と税務課の連絡を密にして、このようなことが二度と起きないように再発防止と税務行政の信頼回復に努めてまいります。

## 〈 討 論 〉

**報告第62号**  
 平成21年度にかほ市一般会計  
 歳入歳出決算認定について

反対討論

村上 次郎議員

この決算については、賛成できる部分もありますが、後期高齢者問題、自衛隊の音楽隊の演奏について含まれているこ

とから反対です。

後期高齢者医療制度は75才以上の高齢者を囲い込み、保険料の引き上げや医療の制限、罰則があるなどの問題が国民の強い批判を受けました。

民主党はこの制度の廃止を打ち出し政権に着きましたが公約を破り4年後に先延ばしをしています。

また、白瀬南極フェアは年々工夫も見られ内容も充実してきていますが、自衛隊音楽隊による演奏については賛成できません。以上のことから、この議案には反対します。

**議案第72号**  
 平成22年度にかほ市一般会計  
 補正予算(第3号)について

反対討論

村上 次郎議員

災害対策費の中のJ・A・L・E R・T整備工事実施設計委託料に反対です。

これは、全国瞬時警報システムとされ、津波警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報など、対処に時間的余裕のない事態の

ときに国から住民に緊急情報を伝達する内容であります。

武力攻撃災害編には、国民保護法の成立以来から始まってゲリラ特殊部隊による攻撃、弾道ミサイル攻撃、航空攻撃などを挙げています。

私には、国民の危機意識をあり、軍事体制増強の一環としか見えません。

世界は武力ではなく、話し合いで解決する方向に大きく進んでいます。

平和を願うこととは逆方向であると思ひ、この議案には反対します。



▲無線統制室 (総務課内)

# にかほ市議会 議会基本条例の制定に向けて

## 議会基本条例(案)の流れ

にかほ市議会は、2年ほど前から議会活性化協議会、作業部会をたちあげ、議会基本条例制定に向け条例案を協議してまいりました。この間に協議会と部会は、10数回の協議を重ねてきてあります。今年4月の改選にあたり5月初旬の初議会において基本条例制定に向けての審議を議会運営委員会に付託しました。7月30日の全員協議会の意見を踏まえて、8月6日、17日、26日に議会運営委員会を開き、条例文章等の最終調整を行い条例文については審議を尽くし、8月26日付けで議長に答申書を送付しました。8月27日には、市当局から副市長、総務部長、総務課長が、議会からは議長、副議長、議会運営委員長、及び議会事務局長が出席し、今後の条例制定に向けての協議を行っております。当局からは、案を持ち帰って精査検討し10月中旬までには、当局の意見をま



▲ 10月7日に行われた議員研修会

とめたい旨の回答がありました。9月定例会閉会後の10月7日には、全議員出席のもとに全市市議会議長会より、法制参事本橋謙治氏を講師に招き、地方議会を取り巻く現状等について、議会基本条例制定にあたっての留意点も含め、4時間ほど講義を受け、研修しました。今後の予定は、パブリックコメント等を実施し、意見等のまとめを行い、制定に向け計画を進めてまいりたいと考えております。

## 産業建設常任委員会 研修視察

研修地・群馬県藤岡市

長野県伊那市

日程・9月27日～29日

藤岡市は人口7万人強の市。高校生からの「防犯街灯を」の声にこたえて、農業用水路を利用した「マイクロ水力発電」と発電量が低くなる農繁期に補強する「太陽光発電」で通学路に防犯街灯を設置。さらに高校と覚書を締結して、発電量測定や除草などに参加し、環境教育に役立てたいと強調されています。「あそびの学校」は廃校された学校を児童館の職員だった人が購入して、「子どもたちに豊かな自然とあそび、文化」を伝えようと運営し、市に寄贈された旧家を利用しての施設を見聞しました。経営は大変のようでしたが、遊びの職人を養成し、子どもたちはたくましく遊び、はきはきと対応してくれました。廃校活用には地震に耐える建物にすることが課題と考えます。

伊那市は人口約7万4000人。「恵まれた自然資源を新工

ネルギーに替え地域で生かすこととで、持続可能な自然共生都市を目指す」として平成19年に地域新エネルギービジョンを策定し、取り組みを進めている市です。

せせらぎ水路発電など三発電所を視察。水路の落差を利用したパイプに発電機を入れたもので、1KWくらいの小型のものが、夜間の街灯照明に使用されていきました。木材ペレットや太陽光発電など自然エネルギー活用を多面的に取組み、市民や事業者への導入支援や啓発なども積極的に進めているとのこと。にかほ市内の河川や水路、堰などを活用して効率的な発電量を確保できないか、課題だと感じてきました。



▲ 研修のようす (群馬県藤岡市)

# 委員会報告

## 教育民生常任委員会

今議会では当委員会に付託された、決算認定1件、予算1件、特別会計8件の合わせて10件の議案の審査を行い、いずれも全員の賛成により認定、可決されています。

21年度の決算では、生活保護への相談、申請件数が大幅に増えています。市では、相談に来たすべての人と面接を行い事情を聞くとともに、市で公募をしている緊急雇用対策事業に、該当する人に対しては、就労指導をしています。ゴミ処理施設については、市民生活に直接関係するところであり、にかほ市にとっても毎年の維持管理費が1億円前後かかっており、課題でもあります。一般質問の中で、市長は今年度中に方向性を示すと答弁されています。当委員会からも由利本荘市との関係も含めて、はっきりとした方向性を示してもらいたいという意見がでています。

予算では、由利組合病院の中にある受け付け装置と同じ装置を、NITの回線を利用して、今年の12月から市内の各保健セ

ンターに3台設置する予定であります。受付時間は、午前6時45分からの予定をしております。

特別会計の診療所関係では、患者数が減っている中で、財政調整基金に446万円を積み立て、実質収支では、1,109万円の黒字であります。厳しい中で、たいへんな経営努力をしているとみられます。

教育民生常任委員長

小川 正文



▲ ゴミ焼却施設

## 産業建設常任委員会

一般会計と各事業特別会計決算認定、22年度各会計の補正予算案、陳情「米価の大暴落に歯止めをかけるための陳情」、それぞれを審査し、意見書についても、全員の賛成で認定・可決・採択しました。

高齢化等集落対策事業として、冬師集落がワラ細工の伝統を伝承するためにチャレンジ支援事業を活用してがんばっています。横岡集落は、1年間勉強してグリーンツーリズムを受入れました。地域の盛り上がりで地域主導になってきていると確認しました。

共同受注システム構築事業の構想については、雇用対策として13名雇用、将来の事業化を目的とし、出資金を募って「合同会社にかほシステムズ」を立ち上げました。将来的には、統合や再編・連携のための接着剤となるよう期待しています。委員からは、市・商工会・企業間の綿密な連携を求める意見が出されました。

ガス事業については、熱量変更事業等により赤字となってい

ます。単年度を黒字会計にするには16～17%の値上げが必要で大口利用者にも理解を得たいと説明がありました。委員会として市民の理解を得るための十分な対策を求めました。

水道事業については、「赤字については、試掘した井戸が水道水に適していないため除却処分した分2,500万円あったため」と説明がありました。石綿セメント管は22km以上あり、24年度以降の国の補助が不透明だが、補助がなくとも経営状態を見ながら更新していく方針を確認しました。

産業建設常任委員長

竹内 賢

## ▼ LNGサテライト基地



▲ ガス水道局

# 委員会報告

## 総務常任委員会

議案第62号平成21年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について、総務部・消防本部・会計課・議会事務局・選挙管理委員会・監査委員に関して、全員賛成により認定することと決定しました。地方交付税は、平成21年度に地域雇用創出推進費が基準財政需要額に新たに算入されたこと等により、当初予算より1億5,299万円の増です。秋田県生活バス路線維持費補助金はマイタウンバス購入にとまなうものです。

院内小学校・仁賀保中学校のバス停の設置については、仁賀保中学校前が6坪、院内小学校前は3坪で両バス停とも乗車人数を勘案し、両校ともコンセンサスをとった上で規模決定しています。

電波遮蔽対策補助金は東畑地区への補助金です。又財政課未利用市有財産等の売却促進は歳入に結びつくように計画的に進められます。

投票所の再編については、来年度の県議会議員選挙が終わった後に協議し、平成25年の知事

選挙までに投票所の再編を行ないます。家屋調査の結果による課税・減税はさかのぼらず、平成23年度から対象になります。

議案第72号平成22年度にかほ市一般会計補正予算の防災無線個別受信機設置は130台、聴覚障害用15台合計145台を予定しております。

保安林に対する課税についての過年度過誤納金還付金は法的に5年、市独自にさらに5年の計10年分還付することになります。過誤納金に対する今後の対応策として林務担当課と税務課において事務分掌に取り入れ、毎年確認を行なうこととしています。

総務常任委員長

伊藤 知



(院内小学校前)

▲バス停(仁賀保中学校前)

## グリーンカーテン

この夏の記録的な高温対策として議会事務局のベランダにゴーヤでグリーンカーテンが作られました。暑さをしのぎ、目で楽しみ、最後は舌で楽しむことができました。



▲議会事務局のベランダ

編

集

後

記

記録的な高温、熱中症の多発、ゲリラ豪雨と、地球温暖化の脅威を垣間見た暑い夏もいつの間にか落ち着いた秋の気配に変わりました。

9月の定例議会も終わり、先日議会基本条例、政務調査費についての研修会が行われました。地方自治が揺れ動いている中で、私達市民一人一人が現実を見据えてできることをなしていくしか道はないと、思いを新たにしているところです。

議会広報編集委員会

委員 伊東 温子

「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。

市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎市民サービスセンターで公開しています。お気軽にご覧下さい。